



丘の上から4

太陽と水と土があれば、こどもたちの最高の笑顔が見られます。雨上がりの水たまり。わくわくするか否かという話題が会議の中で出ました。私はにやにやと笑顔になってしまいます。

汚れることが苦手な人もいるので一概には言えませんが、多くのこどもは興味を示すのではないのでしょうか。こどもたちが興味を示すものにどれだけ付き合えるか。また、一緒になって遊べるか。こどもを真ん中に考えてみませんか。

夏の保育園はダイナミックです。ぜひ、参加保育に来ていただいて、こどもと一緒に思いっきり遊びませんか。 園長



すずらんだより



夏バテ

夏バテの大きな原因は、暑さによる食欲低下で、冷たい飲食物の摂取が多くなり、食事のバランスが偏ってしまうこと。そして、大量の汗をかくことで体が水分不足になり、熱帯夜の寝苦しさからくる睡眠不足などの条件が重なって、体調を崩す場合が多いです。

夏バテ STOP!

お家でできる予防法

夏バテ予備軍 チェックリスト

- そうめんや冷やし中華など、冷たい料理を食べることが多い
- 冷たい飲み物やアイスをよくとる
- 野菜をほとんど食べない
- 入浴はシャワーで簡単に済ませる
- 夜更かしをする
- 運動量が少ない



- 軽い運動
 - お風呂にゆっくり浸かり、汗をかき習慣を付ける
 - 水分補給はジュースではなく、麦茶や番茶にしましょう
 - 冷房は 28℃前後に設定
 - 夏野菜は、体を冷やしてくれるので、しっかりとりましょう
- ☆味噌汁も、夏の疲れた胃腸にはぴったりです。

お知らせ

新規採用・異動職員を紹介します



異動(5月1日より)
さくらが丘子育て支援センターへ
あすなるこども園より

採用(5月1日)
さくらが丘子育て支援センター

採用(6月9日)
さくらが丘保育園・あんずの家

あそびとことば1

そら組



今年度そら組限定で、桜が丘小学校のプールに入らせてもらっています。わくわくの小学校プールですが、小学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんから『地獄のシャワー』が小学校にはあることを聞きました。さて、『地獄のシャワー』とは…これが噂の…「きゃー」「冷たい」「怖い」と保育園のシャワーとは比べものにならない勢いのシャワーでスリル満点。体験して初めて言葉の意味がわかったようです。心と体で経験しながら言葉の理解と表現する力がついてくるのでしょうか。

ほし組



身体を動かすことが好きな子が多く、しっかり身体を動かせるあそびをこどもたちと一緒に楽しんでいます。さまざまなあそびをしている中で、特にお気に入りなのが「おちたおちた」です。

遊びを通しての言語学習

「おちたおちた なにがおちた」「〇〇」で地面に描かれた〇〇の絵に向かって移動します。

最初は保育者が追いかけて、こどもたちが逃げていましたが、たくさん遊んでいく中でルールがわかり、今ではこどもたちが追いかける側、逃げる側もどちらも楽しむことができます。集団あそびの中には言葉を理解して動くあそびがあります。しりとりなどのことばあそびもあるのですが動くことが大好きなほしぐみのこどもたちはことばと動きであそべる「おちたおちた」が今、楽しいあそびです。

つき組



椅子とりゲームをしました。本当のルールだと椅子は外向きです。私が椅子を外向きにしているとAさんが言いました。「中に向いたほうがいいな〜」なんで？と聞くと「お顔がよく見えるよ」…なるほど！それはいい！と急遽変更して内向きにしました。なんだか表情もいつもより楽しそう。負けた、勝ったのトラブルもなく楽しく行うことができました。

あそびの中でこどもの言葉に耳を傾けながら、こどもの気づきを大切にしていくことであそびがこどもたちのものになっています。また、「楽しかった〜」の言葉は保育者のエネルギーチャージになり、次へのつながりの一言です。こどもたちにとっても「またやりたい」の声を聞けるあそびを続けたいです。

にし組



ママごとが好きな子が多いにし組。ママごとコーナーであそぶのが楽しくなるように食べ物や鍋やお皿などいろいろな玩具を増やしました。玩具が増えたことで、あそびが広がっていったように思います。エプロンと三角巾をつけて料理人に変身！鍋とフライパンを振って友だちに料理をふるまっている姿がみられます。「どうぞ」「食べていいよ」などと声を掛けて料理を渡し、その料理を食べたこどもは「美味しい」とパクパク食べている場面をよく目にします。包丁とまな板もあるのですが、トントントン…とすごいスピードで切っている音を聞いた時は笑ってしまいました。家での保護者の姿をよく見ているんだろうなと感じました。こどもたちの興味のあるあそびを広げていくことでこども同士のやりとりが増え、言葉が増えていくんでしょね。

ゆき組



あそびの中で「かして」「ちょうだい」等だんだんと言葉で伝えられるようになってきました。こどもたちも自分で思いを伝えられることが嬉しいようです。日頃のあそび中で大人がこどもの思いを受け止め代弁をしたりする中で言葉の使い方を覚えていきます。「かして」と言ったらかしてくれた。「ちょうだい」と言ったら渡してくれたなどの成功体験を積み重ねていくことで言葉でのコミュニケーションを身に付けていって欲しいです。

はな組



「こっちだよ、Aちゃん」と声をかけると「あー、あー」と声を出し、満面の笑みで保育者を見つめます。玩具に触れようと手をのばして前に進み始めます。こども自身がいつも一緒にいる保育者の声かけに耳を傾け、安心の中で動いてみようとする気持ちが育つようにしたいです。

幼保交流会



6月18日、桜が丘幼稚園と保育園との交流会を小学校のプールで行いました(交流会をプールで行うことは初めての試みでした)。年3回程程度、一緒に小学生になる仲間として顔見知りの関係になれたらと思います。



給食室より

毎週金曜日、そら組さんは自分たちでお米を洗って、炊いています。自分たちでやる事でいつもよりご飯を食べ進めるペースが早い気がします。また、自分たちが炊いたご飯を自分で器につぐというのも達成感があるようで、「ニコッ」と笑顔がこぼれます。





夢中になろう会



今年度の重点行動指針の1つに『こどもが夢中になれることを把握し、生活の中でさまざまな経験を積み重ねることができる場を提供します』とあります。その取り組みとして「夢中になろう会」を実施します。第1回目は『どろんこで夢中になろう会』です。

にじ組

水を全身で浴びる子、水たまりにジャンプをする子、する度にあそびがだんだんとダイナミックになってきています。



ゆき組



ゆき組だけでゆっくりとあそぶ時間を作りました。思い思いの玩具で水をすくったり、水たまりに入り足踏みをしたり、濡れた砂に指をさして、砂や水の感触を楽しんでいます。